

23年度予算修正案を提出

3つの ゼロ

学校給食費ゼロ 国保子どもの均等割ゼロ 75歳以上医療費ゼロ

賃金は上がり年金は下がり、国保料をはじめとする社会保険料は上る一方です。

この修正案は昨年来続く諸物価の高騰で、大変な状況の区民生活を少しでも応援するための内容です。各会派に共同を呼びかけましたが、賛同を得られませんでした。提案した「予算修正案」への質問はせずに否決しました。

修正内容

★財源は、積み立てられた基金(1889億円)の一部を活用

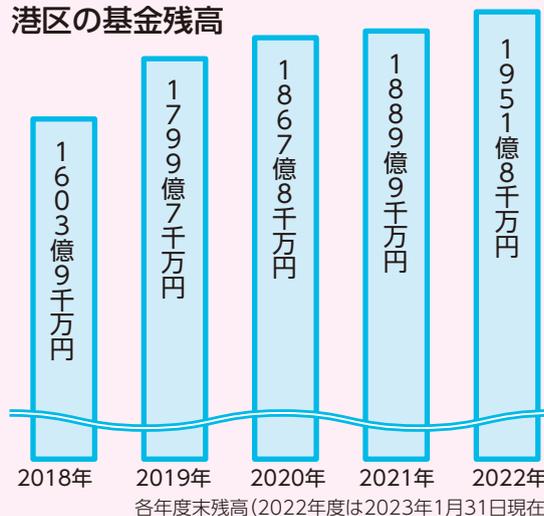
- 1 75歳以上の医療費ゼロ…**26億1200万円**
- 2 小中学校・保育園の給食費ゼロ…**7億5880万円(就学援助分含む)**
- 3 国保料の子どもの均等割を免除…**2億700万円** など 13項目です



港区の基金残高 1951億円に 積み立てた基金は 区民サービス向上のために

港区の基金残高は毎年伸び続けています。2018年の1604億円から2023年3月末で1951億円と5年間で348億円増えています。特別区民税収入も当初予算と決算を比べると毎年増収になっています。5年間で増収分は307億円。増収分のほとんどが積み立てられている計算です。長引くコロナ禍でくらしや営業は大変です。区民が納めた税金は区民の暮らし応援の施策に積極的に使うよう求めました。

港区の基金残高



学校も
保育園も

『給食費ゼロ』は自治体の判断で 区は「国の責任で」と後ろ向きの答弁

東京23区中、9区がゼロを決断した学校給食費、23区で21区が保護者負担ゼロの保育園3歳児以上の給食費、ともに自治体の「子育て支援策」として公費で負担する流れです。

港区で実現のために必要な予算は、合わせて約6億3,500万円。港区が貯めこんだ基金1,889億円のほんの一部を使えば実現します。

「給食」は食育にもつながる教育・保育の一環です。憲法26条は義務教育の無償化を掲げていますから、公費負担が当たり前ではないでしょうか。

『給食費ゼロ』の声をどんどんあげて、区政を動かそう

飯倉公園 駐輪場設置に反対の声

住民の声が区政を動かしています。 子どもたちから遊び場を奪わないで

区主催の2月15日の説明会で、参加者から大反対の声が上がりました。子ども達から公園を奪うな、整備費に5億円、維持管理費に4,500万円もかける必要があるのかと、たくさんの反対の声があがりました。

高速道路下の空きスペースの利用者募集を行っていること、高架下には港区が使用予定の土地(30㎡)があることがわかりました。

入札に参加し、高速道路下に整備するよう総括質問でも取り上げました。

地域や保護者のみなさんと力を合わせて、計画変更を求めて頑張りましょう。



困ったときは
すぐ相談を
弁護士と区議会議員が
ご相談に応じます



福島 宏子
区民文教常任委員/エレベーター等安全対策・新型コロナウイルス感染症対策特別委員/東京2020レガシー特別委員/議員団副幹事長



熊田 ちづ子
保健福祉常任委員/行財政等対策特別委員長/議会運営委員/議員団長



風見 利男
建設常任委員/交通・環境等対策特別委員長/議員団幹事

2023年4月1日

開設します

港区立赤羽小学校 新校舎 赤羽幼稚園 仮園舎

港区三田2-6-2

地上5階、地下2階の施設は、地下2階に体育館が地上5階に屋上校庭が設けられ、1階部分が幼稚園の仮園舎としてスタートします。既存の校舎等は解体し、そこに幼稚園複合施設と小学校の校庭を整備します。



神応ほっとプラザ 港区白金6-9-5

神応ホットプラザは旧神応小学校の校舎を活用した地上4階建ての複合施設です。子どもから高齢者まで安心・安全に「ほっと」一息できる施設です。(いきいきプラザ・協働スペース・学童クラブ・保育園が入ります)



エレベーター防災チェア

小さいエレベーター用も準備すすむ

地震でエレベーターに閉じ込められた場合のため、管理組合などから申請があれば、港区で防災チェアを支給しています。3月10日現在、450台の申請です。



「エレベーターが小さいので申請できない」との声が寄せられました。早速提案し、小さいサイズの防災キャビネットの支給が始まります。

AEDを区内に80台設置

地域と連携し

救命に不可欠なAEDはいざという時に身近な所にあることが重要です。



来年度予算に、町会・自治会等と連携し、AEDの少ない地域に設置するための予算が組まれました。

党区議団は、設置拡大を歓迎するとともに、コンビニは各地に店舗があり、24時間営業していることから、設置場所提供についての協力要請するよう提案しました。

「港区立芸術センター条例」が制定

「(仮称)文化芸術ホール」が、「芸術センター」の名称に決まりました。委員会審議の際、条例成立前の昨年12月5日付で、港区がキッスポート財団に指定管理者として管理運営を依頼する文書を出していたことが分かり、党議員団は、資料提出と説明を求めました。この施設は、文化芸術を通じて共生社会の実現を図り、区民福祉の増進のために設置されます。(開館は2027年6月の予定)

港区議会第1回定例会 / 質問内容をお知らせします。

(他の記事として取り上げているものは除きます)

2月14日

代表質問

福島宏子区議



- ・キッズゾーンの拡大
- ・シティハイツ白金の建替えを
- ・生活保護でも大学進学を
- ・保育士の配置基準の改善と処遇改善
- ・受験生を痴漢から守ること
- ・重すぎるランドセル対策を
- ・学校給食の牛乳ストローやめて
- ・高輪築堤5・6街区の完全保存を

2月15日

一般質問

熊田ちづ子区議



- ・医療的ケア児への生まれたときからの支援を
- ・(仮称)医療的ケア児相談センターの設置
- ・港区で障害者の超短時間雇用の受け入れを
- ・ヤングケアラー支援条例の制定を
- ・コロナ5類でも公的責任を国に求めること

STOP! 羽田低空飛行

港区独自の騒音測定で、青いいきいきプラザは82.6dB、本村小学校では85.2dBの最大値。『運用中止、海上ルートに戻せ』を区長から国に強く要請するべきです。

神宮の自然、環境、景観を守れ

スポーツ界からも「待った」の声

「樹木を守れ」の声が大きく広がっています。

元全日本のラグーマン、野球関係者からも、「神宮球場、ラグビー場は現在地で建替え」をの声を。

予算特別委員会

2/22~3/8

主な質問項目

- * 指定管理者制度におけるグループ化・非公募の課題
- * ワーキングプアを生み出す会計年度任用職員ではなく正規雇用を増やすこと
- * 感震ブレーカーを無料配布すること
- * 暮らしのガイドをいきいきプラザにも置くこと
- * 福祉総合窓口の改善を
- * シルバー人材センターの仕事確保と財政的支援を
- * 無料入浴券の枚数を増やすこと
- * ホテルのフロント設置を義務づけること
- * 東京都にPCR検査の継続を求めること
- * インボイス相談ブースの拡大を
- * 産業振興センター「勤労者交流室」の利用促進を
- * ちいばすのバス停に上屋の設置を
- * 高樹町の地下横断歩道にエレベーターの設置を
- * 区内全107部活動の外部委託は子どもの声をきき、検証を重ねること
- * 健康保険証の廃止、カードとの格差をやめること
- * 介護サービスの苦情解決を

質問は区議会のHPで動画で見られます。



区政に対するご意見、ご要望をお寄せください。

国民健康保険料値上げ

均等割りが4,800円の値上げ(基礎分と後期支援金分) 所得割率も引き上げ

共産党は高すぎる保険料に反対しました。共産党以外は賛成。

2023年度の国民健康保険料は所得割率も均等割額も引き上げられたため、軒並み値上げになります。均等割額(基礎分と後期支援金分)は55,300円から60,100円と4,800円も値上げになります。

国民健康保険に加入している世帯の52.2%は均等割額の軽減(7割・5割・2割)を受けている世帯です。こうした世帯にさらなる負担を押しつけるべきではないと反対しました。

日本共産党

港区議員団ニュース

2023年 春号 発行: 日本共産党港区議員団 〒105-8511 港区芝公園1-5-25 TEL: 3578-2945 FAX: 03-3578-2947

メール mail@jcp-minatokugidan.gr.jp ホームページ http://www.jcp-minatokugidan.gr.jp

港区議団 検索

